

2016年3月期 第2四半期 連結決算説明資料

品目別売上の名称変更及び区分変更

当社は、強みである映像技術を活かし、使用ニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提案する「Visual Technology Company」を目指してまいります。この経営方針の下、当期より品目別売上高の情報を次のように変更しております

- 「コンピュータ用モニター」としていた名称を「映像表示システム」に変更
- 「その他」に区分していたグラフィックスボード、品質管理ソフトウェアや各種周辺機器等の売上高を「その他」から「映像表示システム」に含めて集計

なお、過年度の数値を変更後の区分に組み替えております

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2016年3月期第2四半期累計は“15F1”となります

2015年11月



EIZO株式会社 (6737)

連結損益計算書

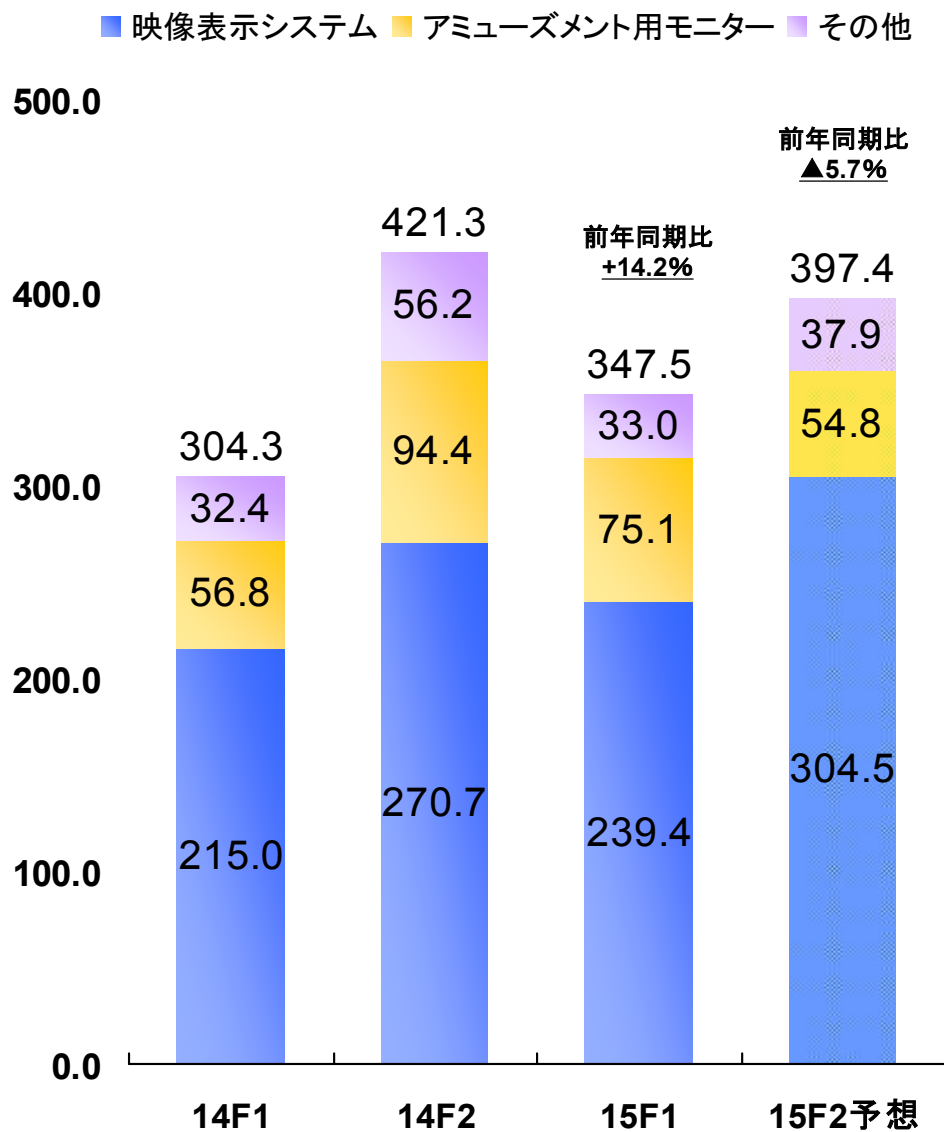
(百万円)

	14F1		15F1		前年同期比	
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	30,437	100.0	34,754	100.0	+4,316	+14.2
売上原価	21,027	69.1	24,675	71.0	+3,647	+17.3
売上総利益	9,409	30.9	10,078	29.0	+669	+7.1
販売費及び一般管理費	8,359	27.5	8,340	24.0	▲18	▲0.2
営業利益	1,050	3.5	1,738	5.0	+688	+65.5
営業外損益	82	0.2	671	1.9	+589	+715.9
経常利益	1,132	3.7	2,409	6.9	+1,277	+112.8
税金等調整前四半期純利益	1,132	3.7	2,409	6.9	+1,277	+112.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	815	2.7	1,742	5.0	+926	+113.6

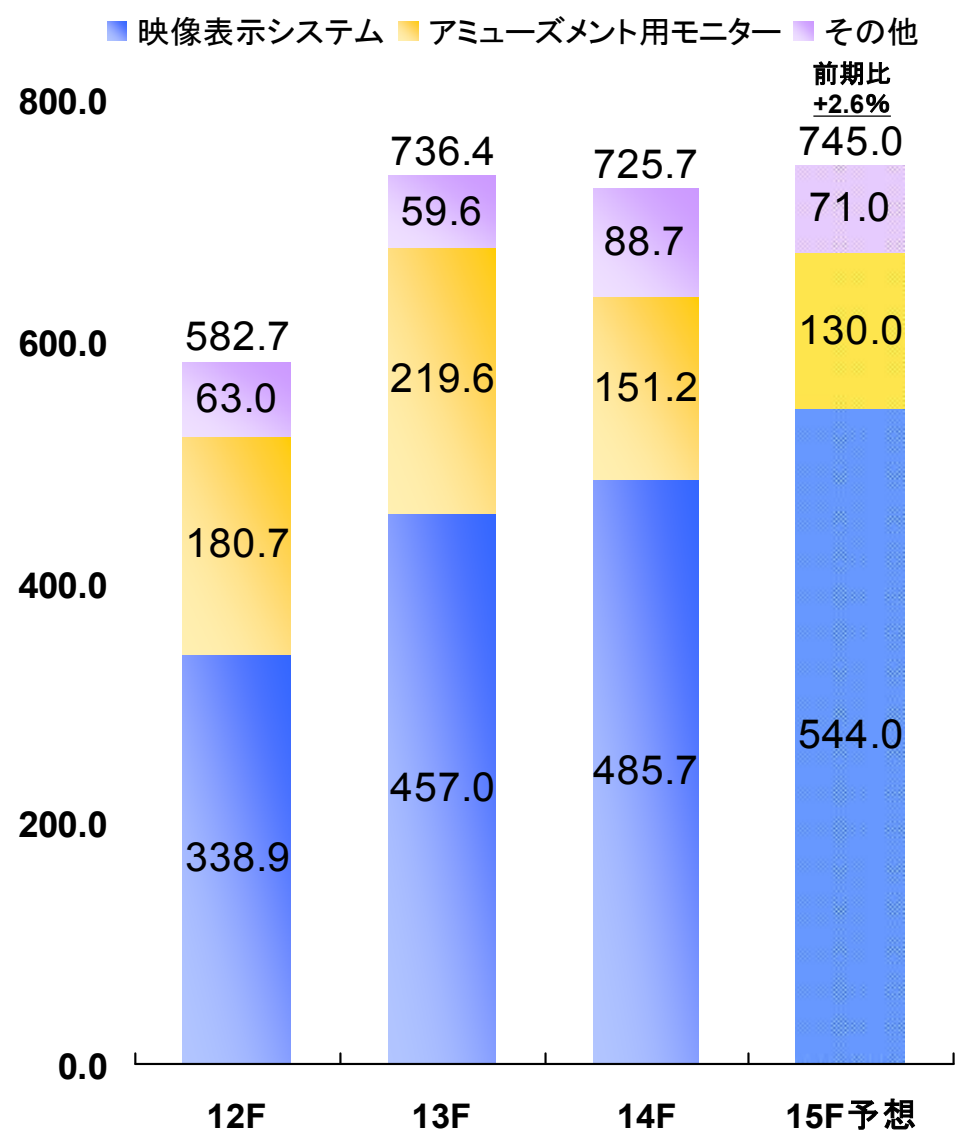
連結売上高推移

(億円)

半期推移



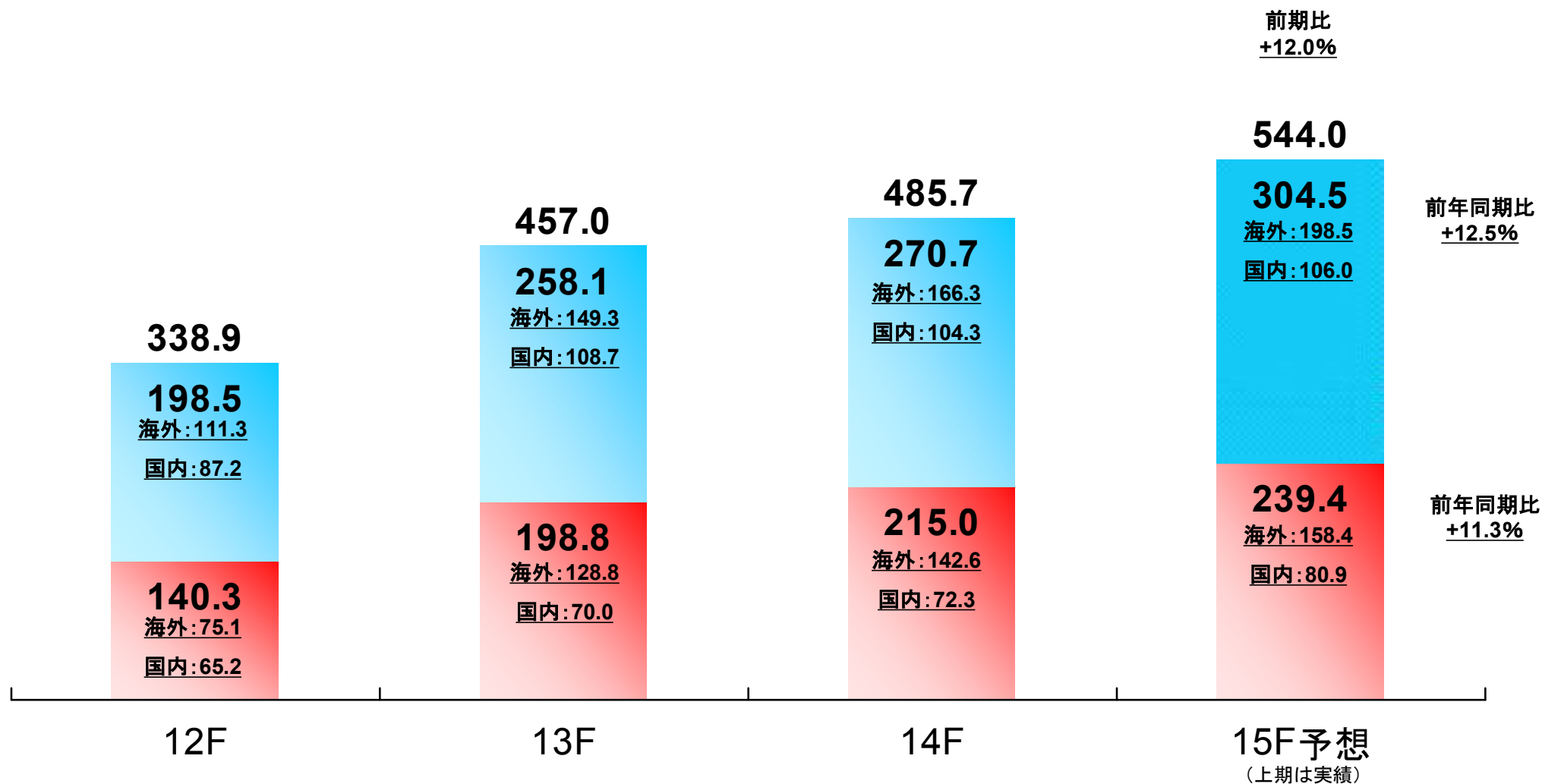
年次推移



売上高推移：映像表示システム - 合計 -

(億円)

■ 上期 ■ 下期

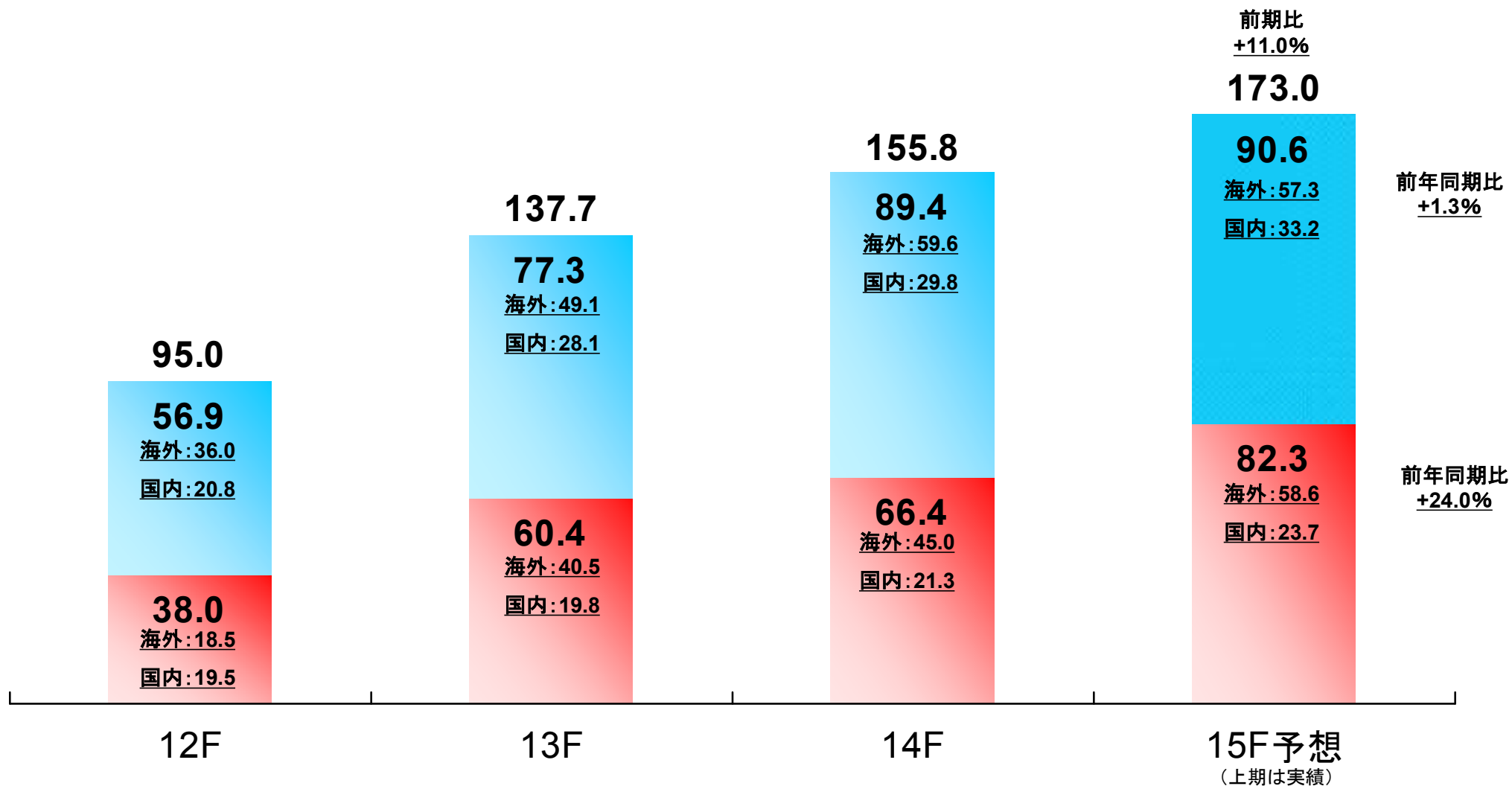


売上高推移:映像表示システム - B&P市場 -

*これまでの「一般用途」を「Business & Plus (B&P)」と名称変更しました。B&Pはプロフェッショナルなビジネス用途からハイエンドなプライベートユーザーまで、様々な用途に応じた映像表示システムです

(億円)

■ 上期 ■ 下期 ・海外、国内ともに24インチのフレームレスモニターの販売が好調に推移し、前年同期比で増収となった



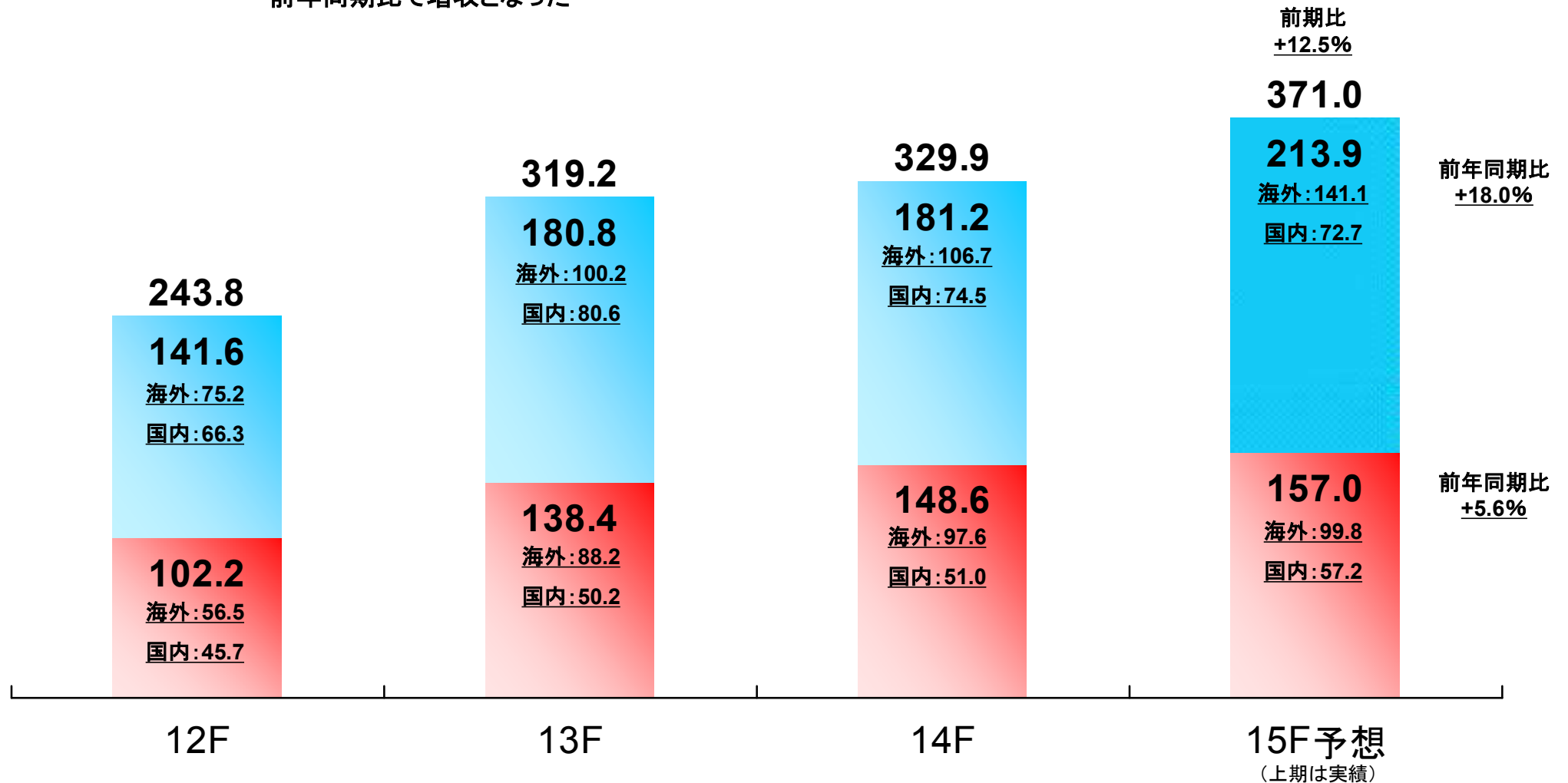
売上高推移：映像表示システム - 特定市場 -

特定市場：メディカル、グラフィックス、産業市場向け

(億円)

■ 上期 ■ 下期

- ・グラフィックス市場向けは、海外でエントリーモデルであるCSシリーズの販売が好調に推移したことに加え、映像制作市場への拡販が進んだことで、前年同期比で増収となった
- ・産業市場向けは、監視用途、及び船舶、鉄道車両の輸送機器への組込みモニターの販売が好調に推移したことで、前年同期比で増収となった

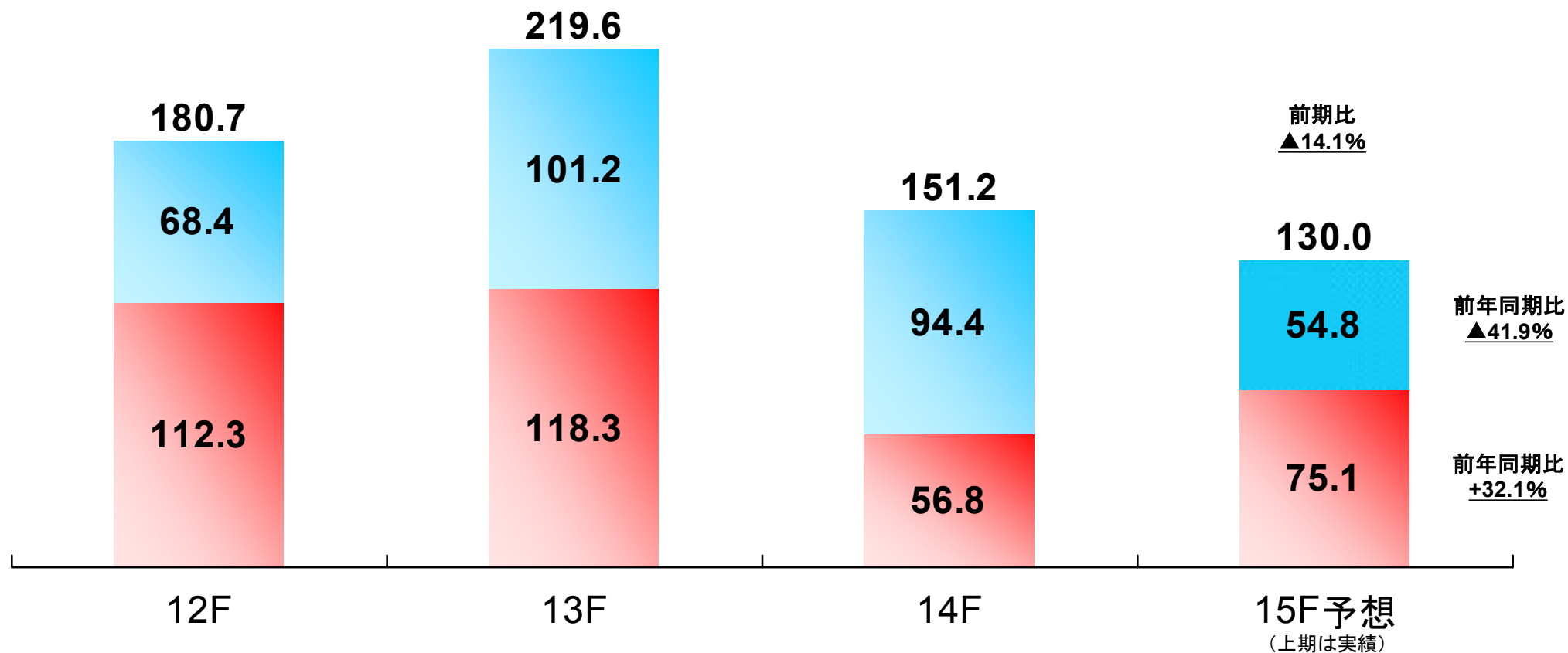


売上高推移：アミューズメント用モニター

(億円)

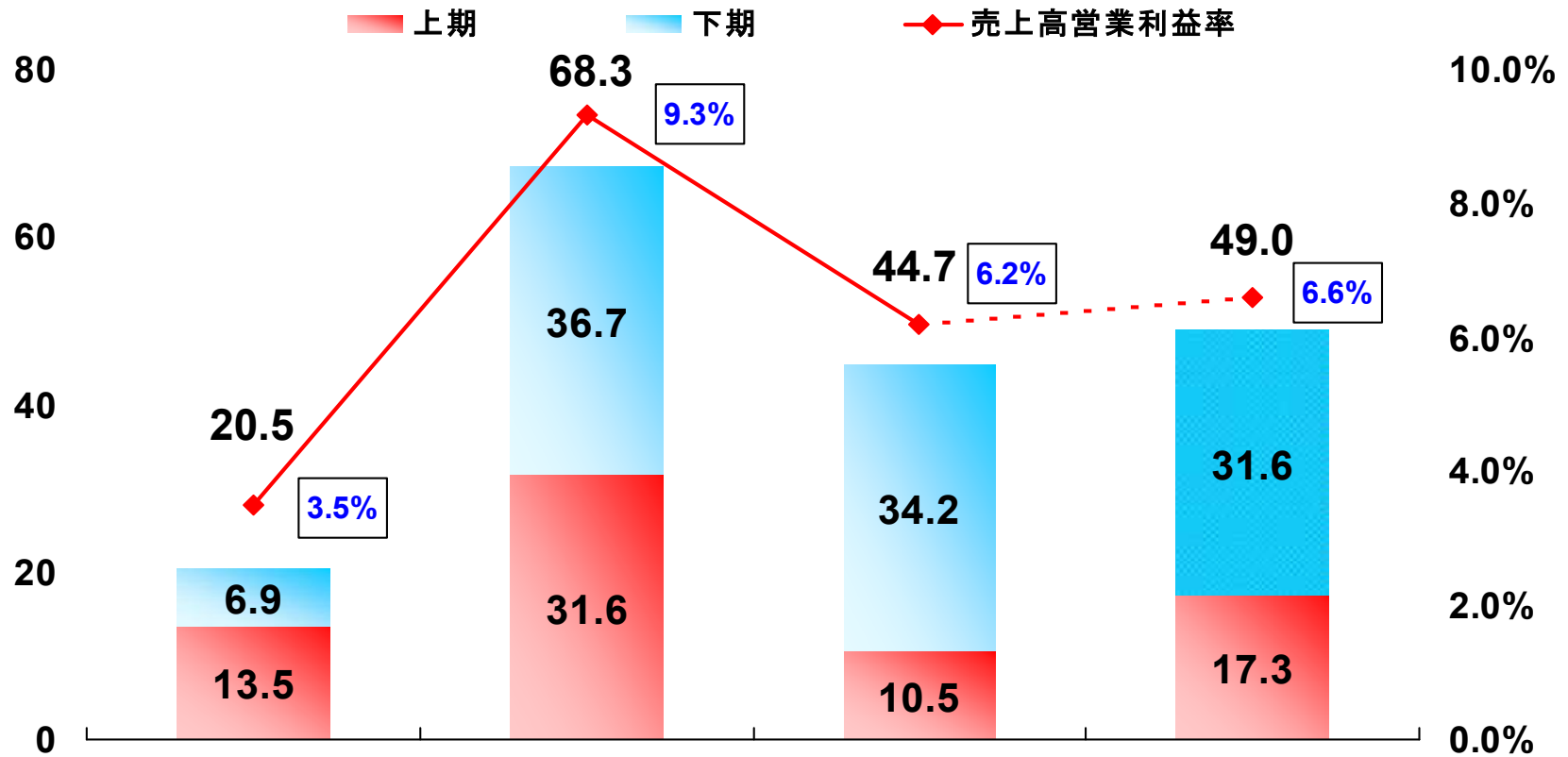
■ 上期 ■ 下期

・新機種の販売が好調であったことから、前年同期比で増収となった



営業利益推移

(億円)



	12F	13F	14F	15F 予想 (上期は実績)
ROA (%)	4.0	9.3	4.7	4.7
ROE (%)	2.7	8.3	4.5	4.5
DOE (%)	1.8	1.8	1.7	1.9
EBITDA (億円)	44.2	97.0	67.2	73.1

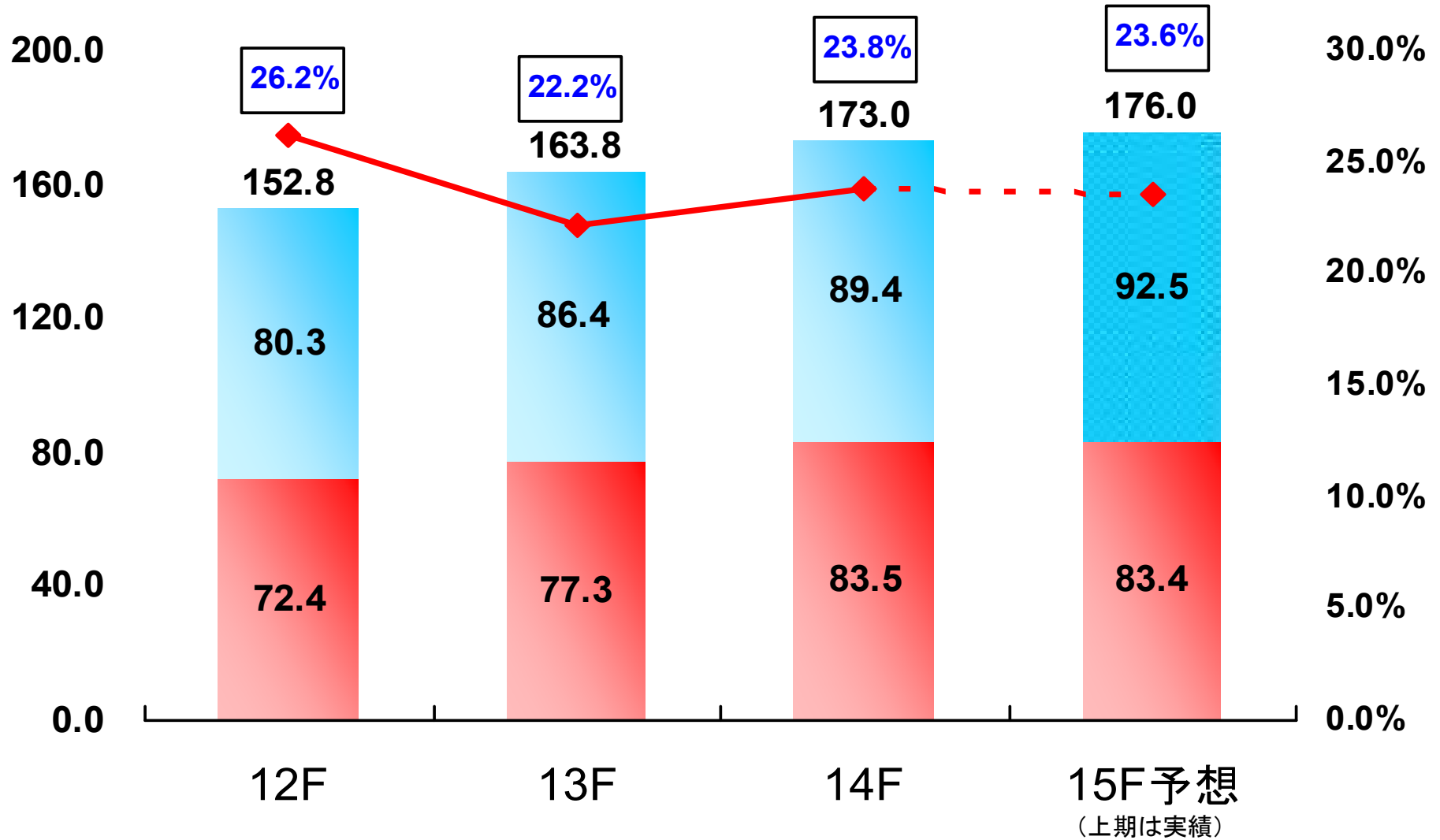
ROA(総資産経常利益率): 経常利益 ÷ 総資産(期首・期末平均) ROE(自己資本当期純利益率): 当期純利益 ÷ 自己資本(期首・期末平均)
 DOE(純資産配当率): 年間配当金総額 ÷ 自己資本(期首・期末平均) EBITDA: 税引前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん等償却費 + 減損損失



販売費及び一般管理費推移

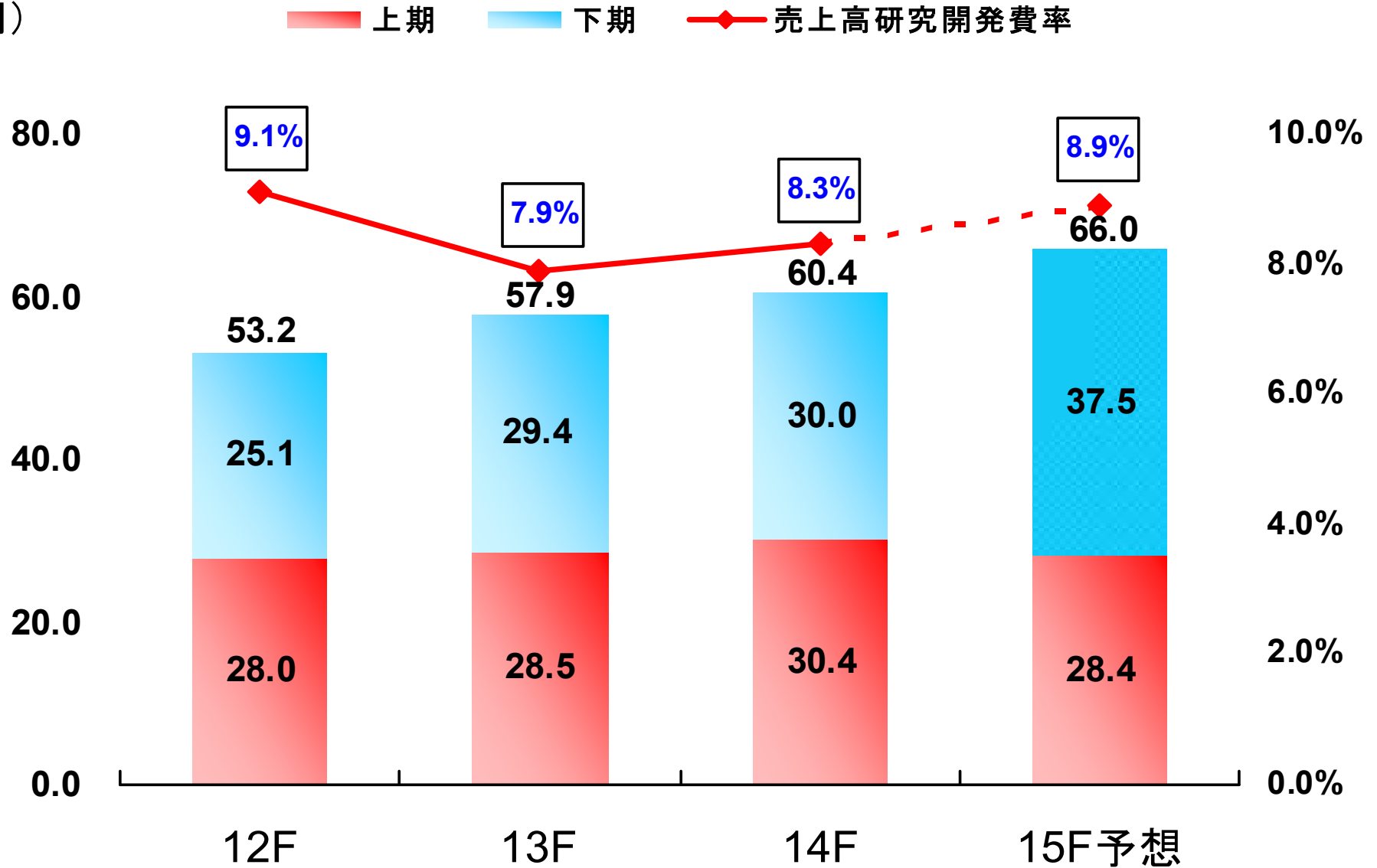
(億円)

■ 上期 ■ 下期 ◆ 売上高販管費比率



研究開発費推移

(億円)

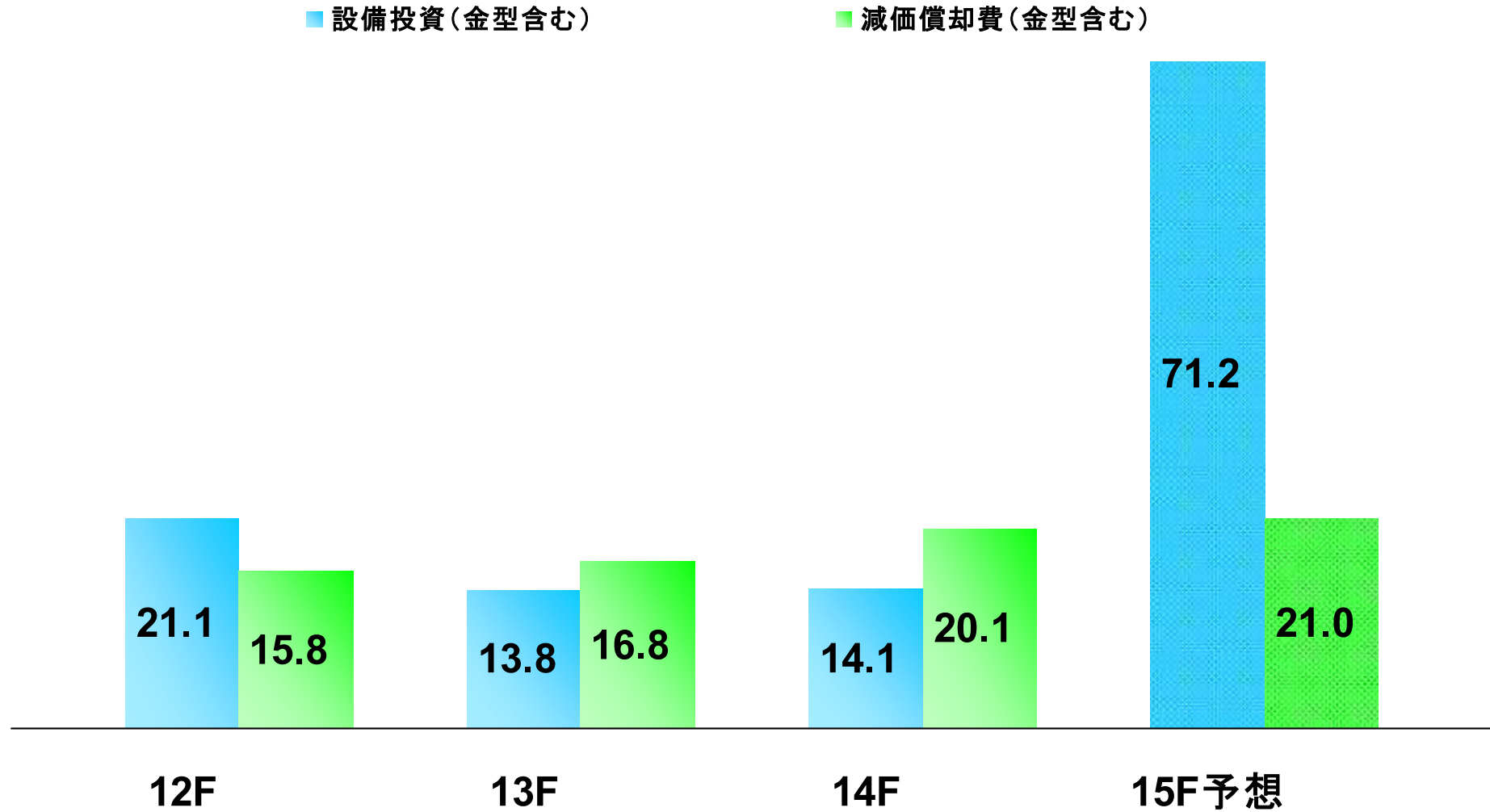


※研究開発費は製造費用計上分を含む

(上期は実績)

設備投資推移

(億円)



※15F予想:増産用新棟建設を含む(44億円)

連結貸借対照表

(百万円)

	15年3月末 (前期末)		15年9月末 (当第2四半期末)		前期末比 増減額
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
現金及び預金	6,522	6.1	6,770	6.4	+247
受取手形及び売掛金	17,502	16.4	11,975	11.2	▲5,527
たな卸資産	25,006	23.5	28,126	26.4	+3,120
その他の	14,396	13.5	19,145	18.0	+4,749 *
流動資産	63,428	59.5	66,018	62.0	+2,589
有形固定資産	7,983	7.5	8,110	7.6	+126
その他の	35,107	33.0	32,349	30.4	▲2,758
固定資産	43,091	40.5	40,459	38.0	▲2,632
資産計	106,519	100.0	106,477	100.0	▲42
買掛金	5,854	5.5	7,481	7.0	+1,627
流動負債	15,855	14.9	16,716	15.7	+860
固定負債	11,370	10.7	10,682	10.0	▲687
純資産	79,293	74.4	79,078	74.3	▲215
負債・純資産計	106,519	100.0	106,477	100.0	▲42

* 主に譲渡性預金の増加によるもの

連結業績予想

(百万円)

	14F		15F予想		前期比	
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	72,576	100.0	74,500	100.0	+1,923	+2.6
営業利益	4,472	6.2	4,900	6.6	+427	+9.6
経常利益	4,704	6.5	5,200	7.0	+495	+10.5
当期純利益	3,321	4.6	3,600	4.8	+278	+8.4
売上高	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率 (%)
映像表示システム	48,576	66.9	54,400	73.0	+5,823	+12.0
アミューズメント用 モニター	15,127	20.9	13,000	17.5	▲2,127	▲14.1
その他	8,872	12.2	7,100	9.5	▲1,772	▲20.0
合計	72,576	100.0	74,500	100.0	+1,923	+2.6

※ 2015年5月1日公表の通期業績予想に変更はありません

株主還元

(円/株)

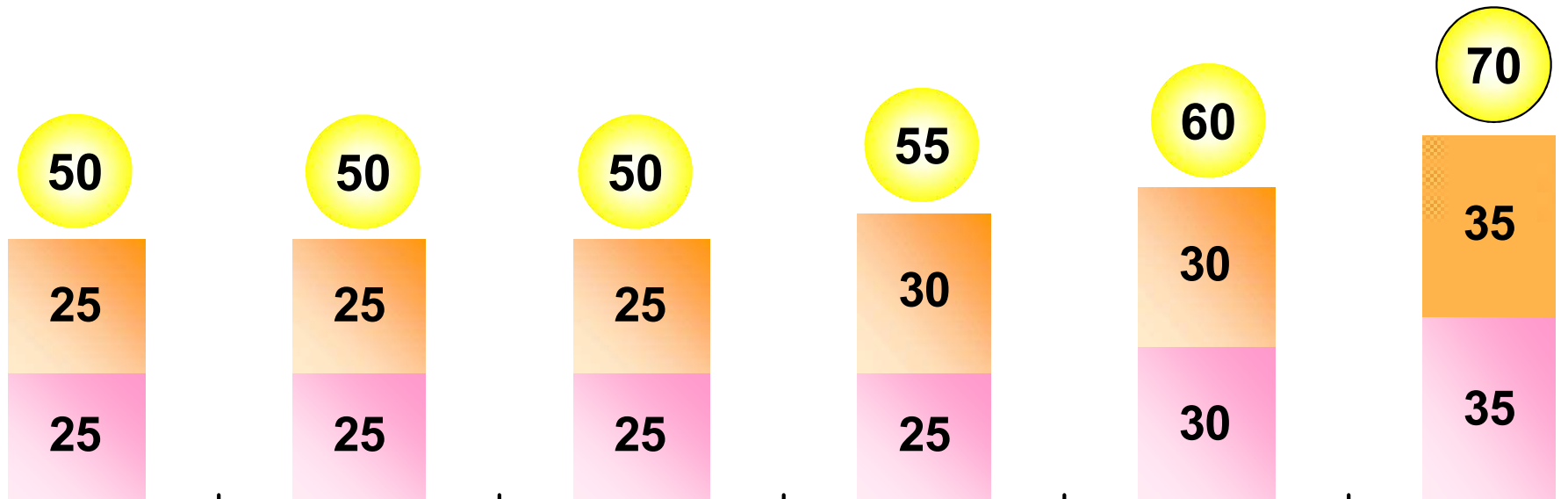
●株主還元方針

- ・事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案の上、株主還元を実施
- ・還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の40%~50%を目標水準とし、それを達成すべく収益基盤を強化

■ 期末配当

■ 中間配当

● 年間配当金



	10F	11F	12F	13F	14F	15F 予想
配当性向	31.5%	67.5%	66.7%	21.6%	38.5%	41.5%
還元率	31.5%	168.0%	66.7%	21.6%	38.5%	41.5%

※ 配当性向は連結ベース 15F期末配当は予想

※自己株買入 11F/1,661百万円



EIZO株式会社

石川県白山市下柏野町153番地

〒924 - 8566

○お問合せ

担 当：IR室 有生(ありせ)

電話番号：076-275-4121

www.eizo.co.jp